

ブログ		学び合い 支え合う 心豊かな子どもの育成	発行日	年間・月中行事予定
	人を大切にする力 自分の考えを持つ力 自分を表現する力 チャレンジする力		令和 8 年 5 月 29 日	
			第 3 号	

挑戦する勇気が将来の自分を創る

校長 田淵 雅樹

サッカーワールドカップにおいて、日本代表の長友佑都選手が、日本選手として初めての「5大会連続出場」という偉業を成し遂げました。長年にわたって第一線で活躍し続けるその姿からは、努力を続けること、そして挑戦し続けることの大切さを感じます。

今回開催されるワールドカップは、アメリカ・カナダ・メキシコの 3 か国による大会です。アメリカ開催のワールドカップといえば、私が思い出す場面があります。1994 年大会の決勝戦、イタリアのロベルト・バジジョ選手がPKを外し、優勝を逃した瞬間です。

しかし、バジジョ選手はその後、こう語っています。

「PKを失敗できるのは、PKを蹴る勇気を持った人だけだ。」

この言葉は、スポーツの世界にとどまらず、私たちの生き方にも通じるものだと思います。失敗するということは、挑戦した証であり、前に進むとした証です。何もしなければ失敗はありませんが、そこには成長ありません。

同じような意味を持つ言葉を、多くのトップアスリートが残しています。例えば、イチロー選手は「**小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道**」と語っています。また、元プロバスケットのマイケル・ジョーダン選手は「**私はこれまでに何千回もシュートを外した。しかしだからこそ成功できた**」と述べています。誰もが知る一流の選手であっても、数多くの失敗を経験し、その中で成長を重ねてきたのです。

さて、明日は第 48 回運動会です。子どもたちは、リレーでバトンをつなぎ完走すること、仲間と動きを合わせるなど、さまざまな活動に取り組んでいます。その中には、集団だからこそ生まれる葛藤もあったと思います。しかし、「少しでも早くゴールするためには」「みんなと動きをそろえるためには」どうすればよいのかという対話を積み重ねてきたことでしょう。

大切なのは、できるかどうかではなく、やってみようとする、そして仲間と励まし合いながら続けることです。運動会は、友だちとともに努力し、支え合い、達成感を味わう大切な機会でもあります。

子どもたちには、ぜひいろいろなことに挑戦してほしいと思います。うまくいかなくても大丈夫です。その経験が、必ず次につながります。そして何より、自分の体を動かす楽しさ、仲間と力を合わせる喜びを、思い切り味わい、生涯にわたって身体を動かす心地よさを感じてほしいと願っています。

引き続き、潮見っ子にかかわる大人（学校・家庭・地域）で、見守り、支えていければと思います。子どもたちの輝く姿に、ぜひ温かいご声援をよろしくお願いいたします。

☆第 1 回学校運営協議会を開催しました☆

子どもたちの学びをより充実させていくため、学校・家庭・地域の連携をさらに強め、地域と共にある学校づくりを進めているところです。今年度最初の学校運営協議会が開催されました。PTA のサポーター制度と共に、より良い学校づくりのため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆災害・警報時の対応について☆

「気象警報発表時及び地震発生・津波警報発表時の対応について」学校のホームページにまとめております。気象庁のチラシも掲載しておりますので、ご確認ください。

